

平成 26 年度第 2 回  
横浜市公共事業評価委員会  
平成 26 年 12 月 25 日(木)  
横 浜 市

## 【道路－2】再評価

都市計画道路 桂町戸塚遠藤線整備事業

(上倉田戸塚地区)

(道路局)

(様式3)

## 公共事業再評価調書

番号	道路—2	事業担当局課	道路局建設課		
事業名	都市計画道路桂町戸塚遠藤線整備事業（上倉田戸塚地区）		採択年度	H7	
施工場所	戸塚区上倉田町～戸塚町		経過年数	19年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>都市計画道路桂町戸塚遠藤線は、本市の幹線道路網の骨格となる3環状10放射道路の一つ（放射道路）に位置付けられており、環状4号線から藤沢市境を連絡する延長約10.2kmの路線です。環状3号線、横浜藤沢線、下永谷大船線、国道1号、環状4号線と連絡し、南部地域の交通の円滑化を図る幹線街路です。</p> <p>本地区の整備により、周辺地域の渋滞を解消し、交通利便性の向上が図られます。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長約990m、標準幅員22～33m（往復4車線）、用地面積 約19,000㎡</p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成25年度)	
	事業期間		平成7年度～平成13年度	平成7年度～平成31年度	
	事業費	合計		11,700百万円	14,973百万円
		国費		5,850百万円	8,235百万円
		市費		5,850百万円	6,738百万円
	変更内容	橋梁形状の変更や事業実施段階で詳細に検討した結果、事業費が増加しました。また、用地交渉等が難航しており、事業に多くの時間を要しているため、事業期間を変更しました。			
	上位計画等の位置付け	本市の「中期4か年計画(2010～2013)」において、「基本政策 施策27交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。 また、本市の減災対策として今年度策定された「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。			
関連事業	特になし				
事業の 必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化	隣接する桂町戸塚遠藤線の上倉田地区・小菅ヶ谷舞岡地区及び下永谷大船線の上倉田舞岡地区の全線が供用開始され、本地区の整備による道路ネットワークの形成の重要性がより高まっています。また、現高島橋に関しては、竣工後40年経過して補修等が必要であり機能更新を含め、現在架替工事に着手しています。			
	事業の投資効果			事業全体	残事業
		割引率		4%(2%)	
		総便益(B)		401億円 (629億円)	325億円 (511億円)
		総費用(C)		159億円 (135億円)	62億円 (64億円)
		費用便益比(B/C)		2.5 (4.7)	5.2 (8.0)
		感度分析 [交通量-10%]		2.2 (4.1)	4.3 (6.5)
	[その他特記事項]				
B/Cの算定にない事業効果	高島橋など現道を拡幅箇所は片側歩道や幅員の狭い歩道ため、整備後は歩行者の安全性と利便性が向上します。				
残事業の内容	27年度以降は現高島橋の落橋及び本設工事、JRを横断する橋の整備など国道1号から供用済の桂町戸塚遠藤線(上倉田地区)まで全線に亘る道路整備を進めていきます。				

事業の進捗状況	事業進捗率%	平成22年度から高島橋周辺の地盤改良等の工事に着手し、平成25年度に高島橋架替のための仮橋整備に着手しており、26年度は引き続き仮橋整備を行うとともに、高島橋から国道1号までの回路的整備を行う予定です。	
	45%		
	用地取得率%		
	85%		
	供用等の状況		
未供用			
事業の課題及び進捗見込み	<p>本地区は一部現道拡幅であり、店舗やアパートがあり、移転先の確保や民地境界未確定により用地交渉が未だに難航しているところがあり、用地の取得に多くの時間を要しております。また、二級河川柏尾川に架かる高島橋の架替工事に着手していますが、今後着手する JR 横断部の橋梁とともに時間制約等があり時間を要します。</p> <p>今後、平成29年度までに用地買収を完結し、残工事については平成31年度までに完了することを目標に進めていきます。</p>		
代替案立案等の可能性	—		
その他コスト削減項目等	<p>橋梁等の構造物を設計する際に、コストを意識した構造及び施工方法の検討を行います。また、工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装・構造物の基礎等については、再生材を使用する等可能な限りコスト削減に努めます。</p>		
過去の委員会からの意見等	委員会年度	意見具申等	意見具申等に対する対応状況
	平成16年度	<p>景観や街並みへ配慮し、道路の整備にあわせて効率的に電線地中化を推進すること。</p>	<p>電線類の地中化につきましては、安全な歩行空間の確保や防災対策、都市景観の向上など、様々な効果があるものと考えており、幹線道路の整備にあたりましては、周辺の土地利用等を勘案すると共に、電線管理者との連携を図りながら、電線類の地中化に取り組んでまいります。</p>
平成21年度	<p>道路整備事業における費用便益分析の算出においては、今後、対象事業の周辺ネットワークにおける位置づけ、交通量の変化等について評価関係資料に記載し、さらに残事業における費用や便益の内容についても評価関係資料等に明示すること。</p>	<p>今後、対象事業の周辺ネットワークにおける位置づけ、交通量の変化等について評価関係資料に記載し、さらに残事業における費用や便益の内容についても評価関係資料等に明示してまいります。</p>	
その他	—		
対応方針(案)		計画通り(上記計画を実施)※1	
	継続	一部見直し(上記計画を変更)※2	
		【見直し内容】	
	中止		

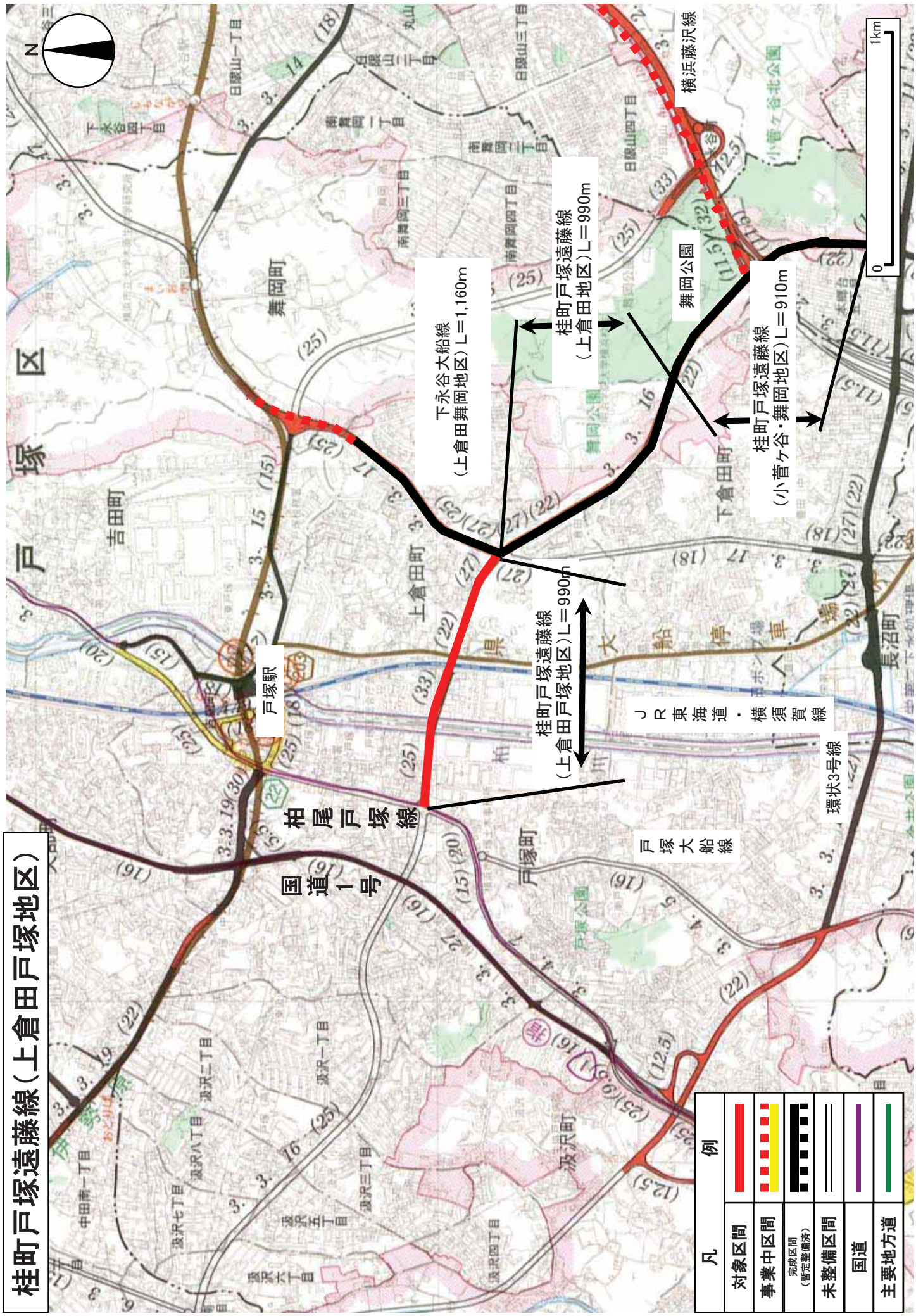
対応方針案とした理由	<p>本路線は、本市南西部地域の放射型幹線街路として重要な道路であり、本地区はJRと柏尾川により分断された地域を連絡する重要な区間で、事業完了を図る必要性は変わりません。また、隣接する桂町戸塚遠藤線の上倉田地区、小菅ヶ谷・舞岡地区、下永谷大船線の上倉田・舞岡地区の供用開始により、より一層本地区の早期整備を望む声を市民からも頂いています。</p> <p>用地取得率は8割を超え、昨年度より本格的に橋梁工事にも着手しているため、事業を継続実施する必要があると判断しております。</p>
------------	---

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

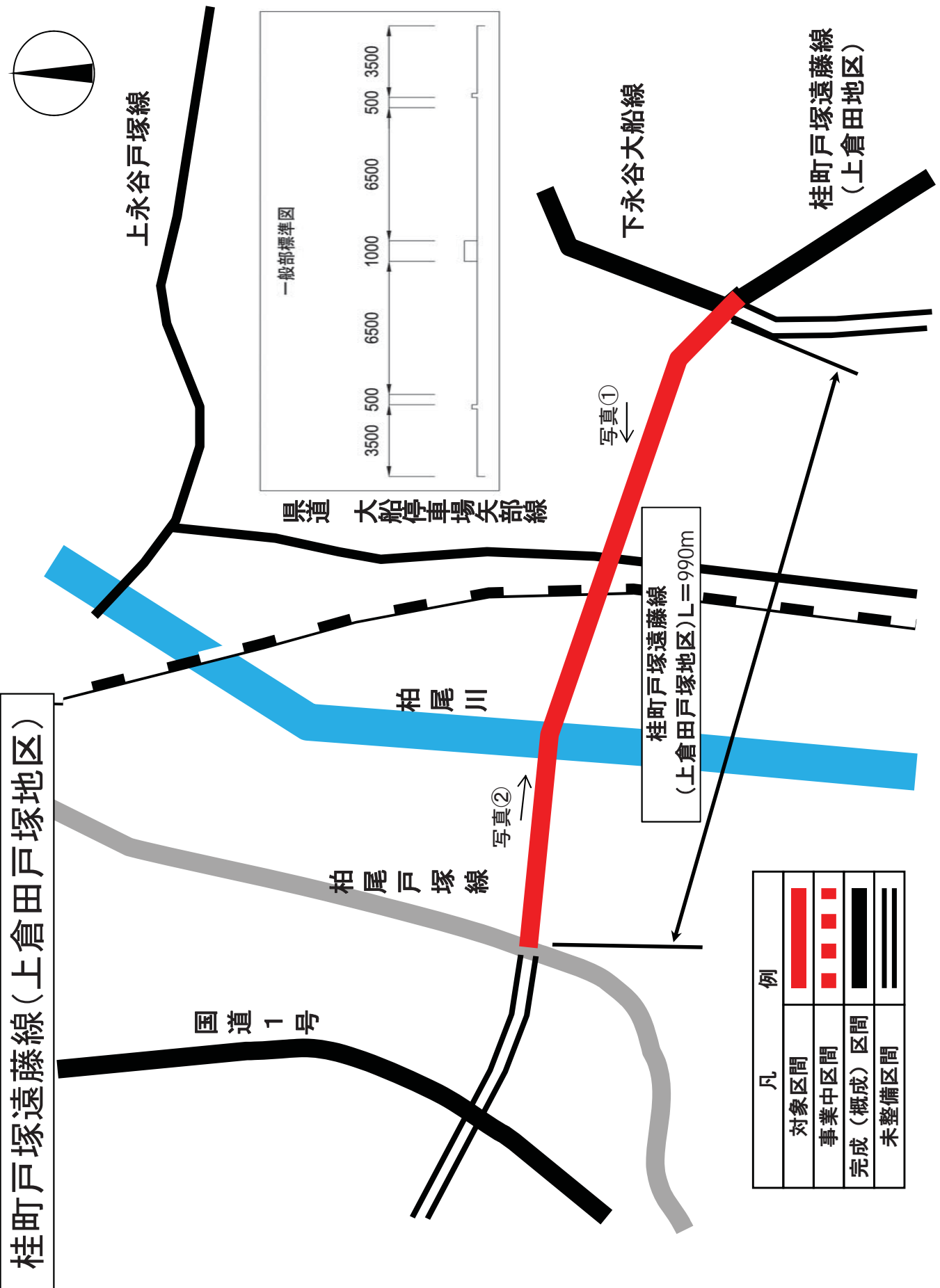
※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。



# 桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)



桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)



凡	例
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	



桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)①



桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)②



事業進捗状況

桂町戸塚遠藤線（上倉田・戸塚地区）

（単位：百万円）

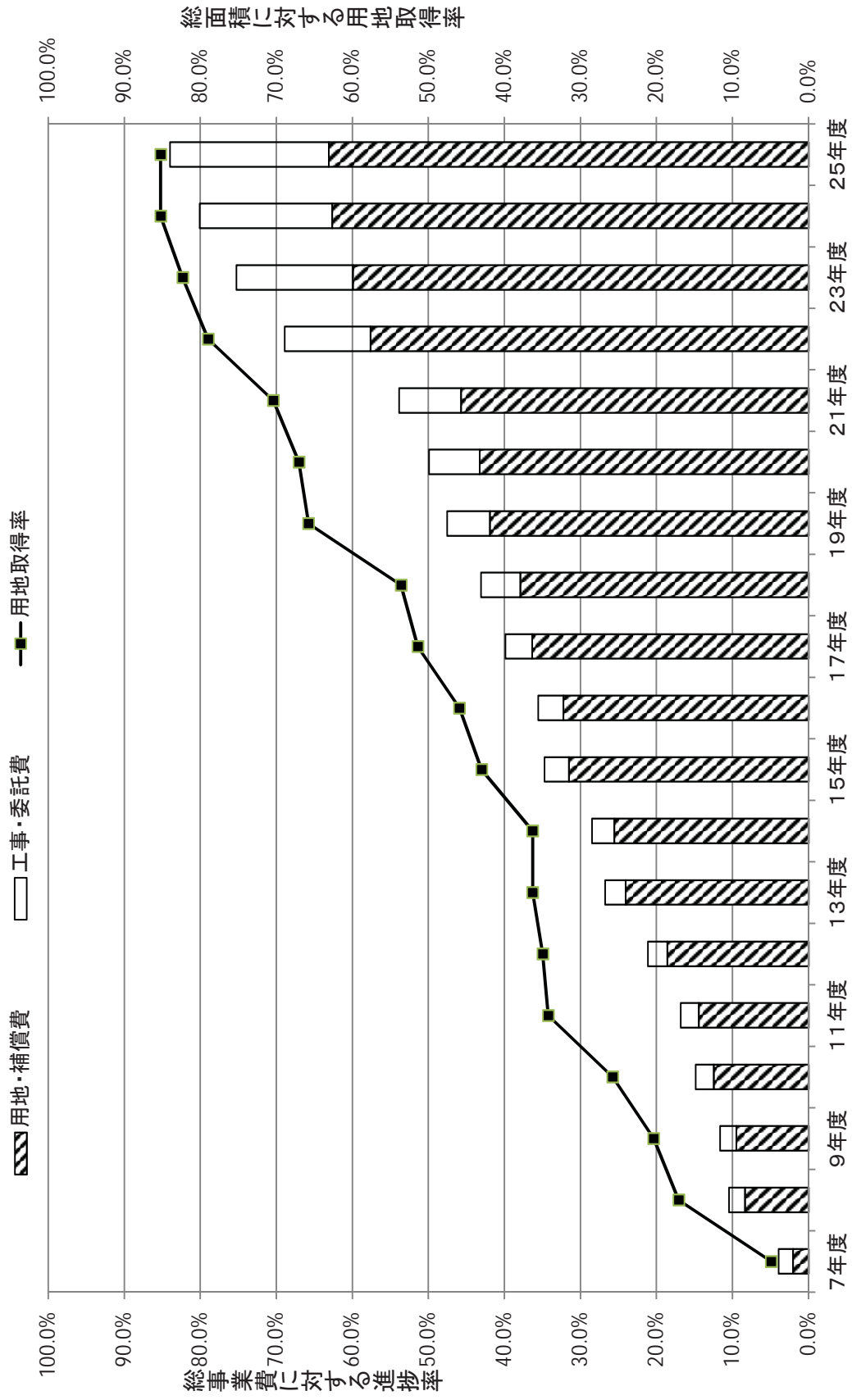
年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得面積		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積 (m <sup>2</sup> )	累計 (m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
7年度	298	178	120	2.0%	2.1%	1.9%	932	932	4.9%
8年度	560	546	14	5.7%	8.4%	2.1%	2,311	3,243	17.1%
9年度	102	101	1	6.4%	9.5%	2.1%	626	3,870	20.4%
10年度	272	257	15	8.2%	12.5%	2.4%	1,022	4,891	25.7%
11年度	170	169	1	9.4%	14.5%	2.4%	1,611	6,503	34.2%
12年度	367	358	9	11.8%	18.6%	2.5%	137	6,639	34.9%
13年度	484	475	10	15.1%	24.1%	2.7%	254	6,894	36.3%
14年度	143	128	16	16.0%	25.6%	2.9%	0	6,894	36.3%
15年度	534	516	18	19.6%	31.5%	3.2%	1,274	8,168	43.0%
16年度	69	63	6	20.0%	32.3%	3.3%	555	8,723	45.9%
17年度	370	356	14	22.5%	36.4%	3.5%	1,041	9,764	51.4%
18年度	238	135	103	24.1%	37.9%	5.2%	419	10,183	53.6%
19年度	374	345	29	26.6%	41.9%	5.6%	2,312	12,495	65.8%
20年度	183	118	65	27.8%	43.3%	6.7%	240	12,735	67.0%
21年度	305	212	93	29.9%	45.7%	8.1%	637	13,373	70.4%
22年度	1,230	1,031	200	38.1%	57.7%	11.3%	1,630	15,003	79.0%
23年度	454	198	256	41.1%	60.0%	15.3%	636	15,638	82.3%
24年度	369	237	132	43.6%	62.7%	17.4%	550	16,188	85.2%
25年度	256	39	217	45.3%	63.1%	20.9%	0	16,188	85.2%
合計	6,780	5,461	1,319				16,188		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 都市計画道路桂町戸塚遠藤線（上倉田戸塚地区）





前回再評価内容との比較 都市計画道路桂町戸塚遠藤線（上倉田戸塚地区）

	前回（H21）	今回（H26）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	隣接する桂町戸塚遠藤線の上倉田地区、小菅ヶ谷・舞岡地区及び下永谷大船線の上倉田舞岡地区が暫定供用が開始され、本地区の整備による道路ネットワークの形成の重要性がより高まっています。	隣接する桂町戸塚遠藤線の上倉田地区、小菅ヶ谷・舞岡地区及び下永谷大船線の上倉田舞岡地区が供用開始され、本地区の整備による道路ネットワークの形成の重要性がより高まっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に下永谷大船線（上倉田舞岡地区）が供用開始。</li> <li>地震防災戦略が策定され、施策の一つとして幅員18m以上（4車線相当）の幹線道路を緊急輸送路として機能強化するための整備促進が盛り込まれた。本路線はそのうちの1つです。</li> </ul>
事業進捗率	27（32）%	45%	+18%
用地取得率	67（67）%	85%	+18%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	<p>本地区は、現道拡幅型の事業であり、買収対象地に店舗やアパート・工場が多く、移転先の確保等、用地交渉に時間を要しています。また、用地取得率は約7割に達しています。</p> <p>今後、高嶋橋架け替えに必要な工事に着手することを予定しており、並行して引き続き用地買収を進め、25年度完成を目途に進めていきます。</p>	<p>本地区は一部現道拡幅であり、店舗やアパートがあり、移転先の確保や民地境界未確定により用地交渉が未だに難航しているところがあり、用地の取得に多くの時間を要しており事業が遅れております。また、二級河川柏尾川に架かる高嶋橋の架替工事に着手してはいますが、JRの跨線橋工事とともに時間制約等があり時間を要しています。</p> <p>今後、平成29年度までに用地買収を完了し、残工事については平成31年度までに完了することを目標に進めていきます。</p>	<p>平成24年度より高嶋橋架替のための仮橋及び迂回路の整備に着手しました。今後は未買収の用地交渉及び本線整備を進めていきます。</p>

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまいうため、参考として前回使用した事業進捗率を（ ）で示した。